

よくわかる！市町村財政分析基礎講座への参加報告書

日本共産党土浦市議団 田子 優奈

表記の研修会が2020年1月16日から17日まで開催され、これに参加したので報告します。

この講座は、「わがまち」の財政状況を把握するために、主に総務省が公表している決算カード・類似団体比較カードや財政状況資料集のどこに何が記載されているのかを、自分のまちの資料を各自持参し、これを用いて学習するものです。参加者は主に地方議員で、全国から40名ほどが集まりました。NPO法人多摩住民自治研究所理事 大和田一紘氏が2日間通して講師を務められました。テキスト「四訂版 習うより慣れろの市町村財政分析」とレジュメ・主催者作成資料集・分析用紙（ワークシート）と、土浦市の決算カード・類似団体比較カード・財政状況資料集などを用いての学習でした。たましん RISURU ホールで行われ、日程は以下の通りです。

1日目は13時から始まり、第1講「決算情報をいかに予算審議と連動させるか-誰でもできる財政分析」 第2講「市町村のふところは-歳入の仕組みを考える」 第3講「議会・市民から見た税金の使われ方-歳出の仕組みを考える」 第4講「様々な「財政指標」の見方・読み方・使い方」を学び、19時30分に1日目の講座を終えました。

2日目は9時15分から始まり、第5講「類似団体比較カードと財政状況資料集のイロハ」を12時まで学び、昼食休憩を挟み、13時から第6講「地方交付税の基礎の基礎～臨時財政対策債にも触れて」 第7講「わがまちの財政分析～市町村財政分析基礎講座でできることになること」 15時にすべての講座を終えました。

学んだ内容を箇条書き的にまとめると以下ようになります。

○決算カードにはまちのどのような情報がどこに記されているのかの解説を受けた。また、平成26年度から平成29年度の歳入歳出等を分析用紙（ワークシート）に記入・計算し、決算額の推移を出した。

○平成29年度決算カードより歳入区分で額の大きいものから分析用紙（ワークシート）に記入、全体比を計算し「歳入決算額の構成（額）比」を出した。

○平成29年度歳入について一般財源の内訳ごとに金額を計算して導き出した。

○平成29年度決算カードより目的別歳出で額の大きいものから分析用紙（ワークシート）に記入、全体比を計算し、「充当一般財源等の科目順位」を出した。

○平成29年度決算カードより性質別歳出で額の大きいものから分析用紙（ワークシート）に記入、全体比を計算した。

○平成29年度決算カードより財政指標を分析用紙（ワークシート）に記入、「実質的将来財政負担額比率」等を計算して導き出した。

○平成29年度財政状況資料集より、決算統計上の会計区分の分け方と、各分析表の解説を受けた。

○平成29年度類似団体比較カードの解説を受けた。

○市町村分地方交付税算定台帳の解説を受けた。

○平成29年度地方債現在高の状況の解説を受けた。また、臨時財政対策債については実質的な交付税であると同時に地方債であるとの解説を受けた。

休憩時間や講座終了後も、講師やベテランアシスタントに「わがまち」の財政について個別指導を受けるかたが多くおられました。